

3号機原子炉建屋 地震計の復旧状況について



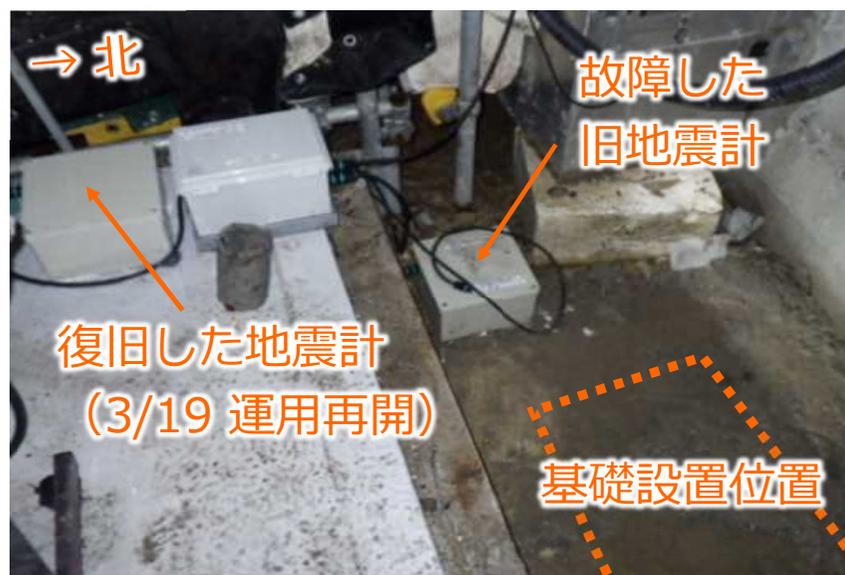
TEPCO

2021年5月25日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

- 建屋全体の経年変化の傾向把握等を目的として3号機原子炉建屋1階及び5階オペレーティングフロアに各1台設置した地震計は、故障により運用を中断していたが、新品に交換して復旧し3月19日より暫定的に運用を再開した。
- その後、雨水による故障の再発防止対策として、1階の地震計を新設した基礎上へ移設し、3月29日より当該基礎上での観測を開始した。
また、故障発生時に速やかに観測を再開するための対策として地震計の予備品6台を確保した。
- 地震計の復旧後、現在まで問題なく観測できている。引き続き観測記録を収集・分析し、建屋全体の経年変化の傾向把握の検討を実施していく。また、3号機地震計の試験運用結果を踏まえて今後1, 2号機への地震計設置も進めていく。

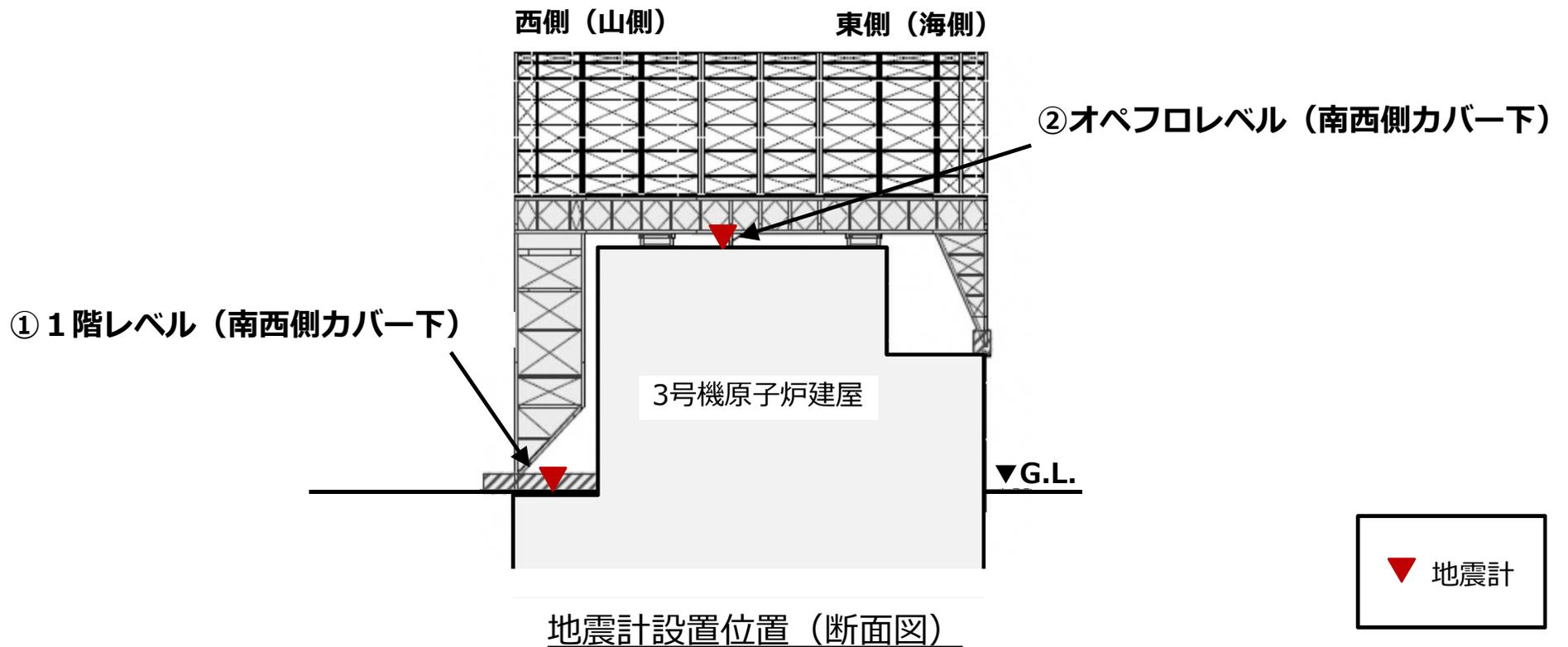


1階地震計 3月19日 運用再開状況

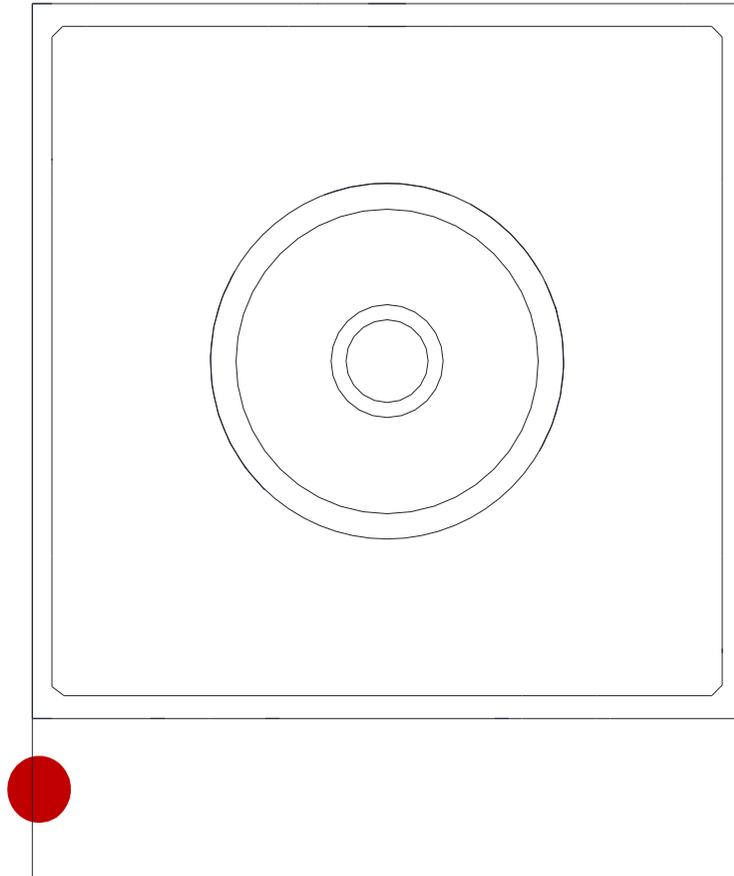


1階地震計 3月29日 新設基礎への移設状況

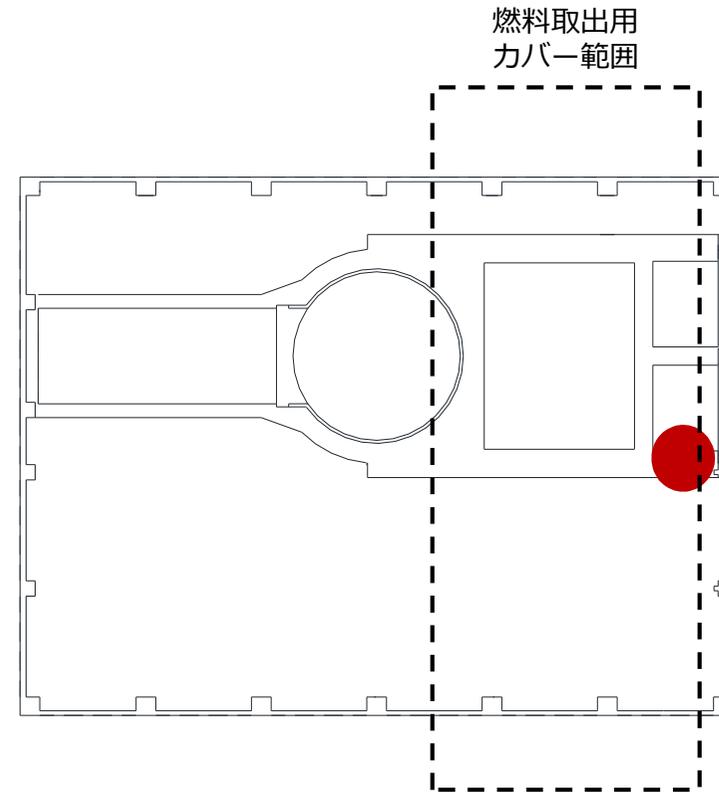
- 3号機R/B「1階レベル」「オペフロレベル」ともに地震計を復旧済み。



←北



1階レベル



オペフロレベル

地震計設置位置（平面図）

